

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人 広島県臨床検査技師会

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

(モバイルサイト <http://mw.hiroringi.or.jp/>)



C O N T E N T S

レポート << Report >>

ページ	項目
2	平成27年度 定期総会<<報告>>
3	平成27年度 第2回理事会<<報告>>
5	平成26年度 広島県臨床検査技師会 会員表彰 学術業績者、学術奨励、功労者、特別表彰者
6	永年職務精励者



7	第42回 呉地区七夕学会<<報告>>
---	--------------------

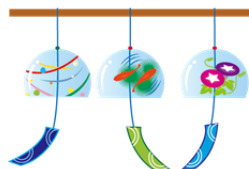


ご案内 << Information >>

9	第33回 広島県医学検査学会 (第1報)
9	血液検査研修会について【お詫びとお願い】
10	新入会員オリエンテーションと交流会のご案内
10	全国「検査と健康展」開催のお知らせ

研修会・講習会<< Study >>

11	血液検査、一般検査部門の研修会案内 ほか
11	検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の案内



臨床検査データ
標準化委員会

平成27年度広島県・臨床検査データ標準化事業への参加

申込締切にご注意を！ 平成27年7月31日(金)までです。

申し込みは、広臨技ホームページ< <http://www.hiroringi.or.jp/> >から
 <<測定試料の発送は・・・10月6日からです>>

詳細は、標準化事業参加施設専用のメーリングリストでお知らせします。

平成 27 年度 定期総会<報告>

平成 27 年 6 月 13 日 (土) ホテルニューヒロデンにて平成 27 年度定期総会が開催された。

総会に先立ち大塚渉外法規部長の進行のもと、平成 27 年度会員表彰式が行われた。今年度は 34 名が表彰され、表彰状と記念品が贈られた。功労者表彰を受賞された榎本由枝氏より受賞者を代表して謝辞が述べられ、会場から各受賞者に祝福の拍手が送られた。

定期総会は田中事務局長の進行で行われた。

出席者総数 1,217 名と総会員数 1,591 名の過半数に達し総会は成立した。

第 1 号議案の平成 26 年度事業報告では、水野会長から 1) 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の開催、2) 毎年 11 月の検査と健康展開催月間について、3) 学術誌「広島臨床検査」の発刊、4) 公益活動としてエイズキャンペーン、ピンクリボンキャンペーン等のがん啓発や講演会について報告があった。引き続き各部局事業報告が行われた。

第 2 号議案は平成 26 年度決算報告、第 3 号議案は平成 26 年度一般会計監査報告が行われた。第 1 号～第 3 号議案は賛成多数で承認された。

続いて第 4 号議案の平成 27 年度事業方針案では、1) 病院経営、検査室に関する研修会を開催する、

2) 臨床検査技師の社会的認知度を向上させる、
3) 会員資質向上と技師会組織の強化に努める、
4) 精度管理、標準化、検査データの共有化 の 4 事業の提案があった。第 4 号議案については、広島国際大学の板羽様より「臨床検査技師の業務拡大における検体採取等に関する厚生労働省指定講習会を、広臨技として全面的に支援するとなっているが、会員に対しての啓発をどのように行っていくのか。」という質問があり、水野会長より以下の回答があった。1) 広臨技でも会員各位への周知は継続して行っていく、2) 会員外の方へも周知が必要であることの認識、3) 来年度入学の学生から文科省カリキュラム対象になることから、本年度入学生までについては周知を行う予定であり、5 年後以降も継続して開催される予定、4) 法改正に伴う業務拡大であるため、この講習会の修了証書は免許証に付随するものとなる。臨床検査技師の職業意識を示すためにも受講を押し進める。

議事運営委員会からの緊急議案や動議はなく、議長より総会の議事がすべて終了したことが告げられ、総会役員および書記の解任の後、無地終了となった。

最後に飯伏副会長の閉会の辞によりすべての総会日程が終了した。

総会役員・議事録署名人の選出

・資格審査委員兼議事運営委員

理事 2 名 佐藤 和義 (庄原赤十字病院)
比山 正治 (本永病院)

正会員 3 名 見世 敬子
(広島赤十字・原爆病院)
岡野 慎一郎 (因島総合病院)
増原 美幸 (広島市民病院)

書記 2 名 福島 恵美 (中電病院)
小松 浩基 (広島総合病院)

議事録署名人 野坂 尚司 (福島生協病院)
水野 誠士
(広島県臨床検査技師会 会長)

資格審査報告および議事の時間配分

正会員数 1,591 名

出席者数 1,217 名

出席者数 46 名

書面表決者数 765 名

委任状出席者数 406 名

議事予定 16時45分～17時25分

第 1 号～第 3 号議案・質疑応答 23 分

第 4 号・第 5 号議案・質疑応答 17 分

追加・緊急動議等 なし

平成27年度 第2回理事会報告

平成27年6月13日(土)第2回理事会が開催されましたので報告します。

【会長から報告】

＜4月27日＞ 都道府県技師会専用サイト新会員管理システムの運用開始について6月29日より運用開始。都道府県技師会専用テストサイトを4月25日(土)よりスタート。説明会は平成27年5月16日(土)であった。

＜5月13日＞公益目的支出計画実施報告書作成に関する委任を末廣浩一郎氏、佐賀香織氏へ行った。

＜同日＞中四国支部学会よりパンフレット配布の依頼、広島県感染症疾病管理センターより生涯学習点数の取り扱いについて、事業計画書を提出、自己申告で点数が取れるよう配慮する。

＜5月18日＞備後糖尿病チーム医療研究会より共催の依頼。

＜5月23日＞日臨技定期総会・技師連盟執行委員会が開催され、総会において定款変更は定数足らず否決。平成27年度日臨技定時総会議決権行使書受領率は全体的に提出率が低く、特に会員数が多い都道府県の提出率が悪い。広島県も3分の2に達していない。定款変更については日臨技のみの会員が600名余りと各県の会員となっていない。その状況より日臨技と各県の会員になるよう定款変更を求めたが否決となった。今後、各都道府県技師会定款の会員の入会条件について調査後、定款変更を実施する方針。

技師連盟は、来年8月にある参議院選挙を見据えて組織強化・加入促進を図る。

＜5月24日＞日本衛生検査所協会定時総会開催。

＜5月25日＞病理細胞診領域研修会はロシュと共催となる。

＜5月26日＞東部地区技師長・連絡責任者会議にて検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会ならびに、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の開催経緯など説明。

＜5月27日＞広島PDNセミナーより後援依頼受理。

＜6月3日＞「県民の健康と暮らしを考える会」にて、本年度のテーマ「認知症の人を支える医療介護 - 多職種と協働して -」、平成28年1月23日または2月6日に新医師会館において開催予定。

＜6月4日＞広島県理学療法士会より学会後援の依頼を受理。

＜同日＞福山医学際より共催依頼を受理。

＜その他＞

中四国支部学会の一般演題が6月10日現在、25題申し込み、演題募集期間を6月30日まで延長。

【事務局から報告】

- 都道府県技師会専用サイト新会員管理システムの運用開始について6月29日より運用開始。

- 県会員の会員証を新しく作成した。

【学術から報告】 報告事項なし

【経理から報告】

- 5月29日、日臨技より41名分の会費振り込みがあった。

- 同日、日臨技より定時総会議決権行使書回収委託費が振り込まれた。

- 5月25日、株式会社メテオより包括費用著作権使用料が振り込まれた。

- 6月4日、細川事務員に業務貢献に対して5万円の旅行券を授与。

【渉外法規から報告】

- 6月6日、とうかさんでエイズ検査を実施。当会から12名、学生21名が参加。受検者55名からアンケートをとった。FM放送を聞いて参加した方が3名いた。イベント中に学生ボランティアが男性に腕を掴まれるトラブルがあったが大きな問題はなかった。集計したアンケートは情報公開可能か広島市に問い合わせる。

- 公衆衛生事業功労者に竹本氏を推薦した。

【組織調査から報告】 報告事項なし

【広報からの報告】

- 広報部会で夏期に発行予定の会報編集会議を実施。

- 学術誌編集について、第2回の会議を開催する予定、現時点の投稿論は9編。

- これまでのメディカルオンラインに加え、医学中央雑誌からも文献検索が可能となる。

【情報システム委員会からの報告】

- 事務所のコピー機と多機能電話の更新検討中。

- ホームページで標準化事業の受付を開始。受付をした施設を順次ホームページに掲載する。

【地区報告】

<広島地区> 報告事項なし

<呉地区>

開催日	事業名	参加人数
2015/04/16	呉地区輸血談話会	38名
2015/04/23	呉地区研修会	33名
2015/05/08	呉地区血液研修会	29名
2015/05/13	平成27年度第1回呉地区細胞診研修会	19名
2015/05/21	呉地区研修会	31名
2015/06/06	第10回呉地区栄養サポート研究会	59名
2015/06/12	呉地区研修会	18名

<東部地区>

開催日	事業名	参加人数
2015/05/28	第1回生涯教育講座（東部地区）	113名
2015/06/04	平成27年度第1回東部地区感染制御部門研修会	36名

<東広島地区>

開催日	事業名	参加人数
2015/05/28	がん関連研修会	7名
2015/06/08	東広島地区研修会（免疫アッセイ 基礎～応用）	24名

<北部地区> 報告事項なし

<討議事項>**【会長より】**

- 検体採取の指定講習会（定員400名）では、実務委員が6名程度必要であり、広臨技役員の配置を調整する。

【事務局】

- 総会において各担当者は役割を把握しておくこと。

【学術】

- 平成28・29年度の学術部員の応募について
応募意志がある場合、所属長の許可を得ること。
応募者全員が選任されるとは限らない旨を記載し、募集は今年の9月の速報から掲載予定。応募条件に技師歴1年以上に加え生涯教育ポイントも一定以上必要。選任は領域長、学術部長でおこなう。
申し込み先は広臨技事務所とする。

【経理】 討議事項なし

【渉外法規】 討議事項なし

【組織調査】 討議事項なし

【広報】

- 病理細胞検査領域メーリングリスト立ち上げ
→承認
- 平成27年度学術編集員の査読委員 →承認

【常務理事会より】

- 講師謝礼細則について

実務委員の実務料を削除。

講演時間(30分以上、30分未満)で講師料を定義。
30分未満は活動費とし、2,000円を基本とする。
源泉徴収金は講師料に含めない。

例) 講師料10,000円の場合、領収書には11,137円と記入するが、手渡す金額は10,000円となる。

- 旅費細則について
会員の会務による移動を伴う交通費、交通費支給に限定する。現状の前日行動費と当日行動費の差は是正する。金額は2,000円を基本とする。
- 会員の活動費・行動費に関する細則について
活動費・行動費の定義、支給の基準を明確にし、その適用についても定めることとする。実務委員、学会役員等で実務の合計が4時間を超える場合、2,000円を支給できる。
- 理事会運営規程について
第16条2項に活動費・行動費細則を追加した。
- 学術部運営規程、検査研究部門細則の改正
理事会にて改正・承認の適用となる規程・細則を追加。
以上の細則は平成27年6月13日より施行する。

【広島地区】 討議事項なし

【呉地区】 討議事項なし

【東部地区】

- 技師会入会マニュアルの必要性から、組織調査部が支援する。

【東広島地区】

- 7月17日の輸血研修会の参加要請。

【北部地区】 討議事項なし



【その他】

- 日臨技主催・広臨技開催の「検査と健康展」について

11月28日、広島YMCAにて開催決定。

参加者として1,000名程度を想定する。

講演は「認知症について」と「検査結果の見方について」、臨床検査専門医会の医師にお願いする。

その他、頸動脈エコー、認知症に関わる物忘れ診断プログラムの機器をレンタルした。

以上

平成26年度 広島県臨床検査技師会 会員表彰

■学術業績者表彰

平原智恵美（呉医療センター・中国がんセンター）

医用波形標準化規約（MFER）を活用した過去心電図の継続利用と院内全心電図管理システムの構築

吉森雅弘（広島市衛生研究所）

AutoVue®における赤血球試薬の24時間連続架設が結果に及ぼす影響について

志田原郁子（福山市医師会総合健診センター）

臨床材料由来アシネトバクターの乾燥耐性能、温度耐性能および混合菌からの選択分離について

■学術奨励賞

津川和子（広島大学病院）：標準化事業

木村 充（中国労災病院）：血液検査部門

■功労者表彰

丹下富士男（呉共済病院）

槌本由枝（マツダ病院）

■特別表彰

緋田裕二（安芸太田病院）

岡野慎一郎

（日立造船健康保険組合 因島総合病院）



■永年職務精励者表彰（25名）

緋田裕二	（安芸太田病院）	西川信一	（三原赤十字病院）
大岡玲子	（マツダ病院）	西浜聖美	（中国労災病院 中央検査部）
大谷佳子	（広島市立安佐市民病院）	野坂尚司	（福島生協病院）
奥原俊彦	（福山臨床検査センター）	野村英幸	（県立安芸津病院）
笠井順子	（広島記念病院）	原田まゆみ	（マツダ病院）
國友孝幸	（公立みつぎ総合病院）	引地明子	（福山臨床検査センター）
坂根美保子	（広島市医師会臨床検査センター）	福林雅裕	（日野内科・小児科クリニック）
佐々木善宏	（日本鋼管福山病院）	古谷和男	（広島市立舟入市民病院）
高橋千波	（広島県地域保健医療推進機構）	松尾 宏	（広島共立病院）
竹田美智恵	（本永病院）	松田ひろ美	
仲野秀樹	（呉医療センター・中国がんセンター）	水野睦美	
中村和幸	（寺岡記念病院 臨床検査室）	森 三郎	（尾道市立市民病院）
		森永さおり	（広島市立舟入市民病院）



広臨技MLコミュ

広臨技MLコミュは、広島県臨床検査技師会の会員による会員のためのメーリングリストです。すべての会員施設の参加登録をお願いします。広臨技執行部、学術部などから、随時、お知らせなどを発信しています。

参加申し込みはこちら

会員番号、氏名、施設名を明記して…>>> **送信!**
E-Mail webmaster@hiroringi.or.jp

ホームページからの申し込みは
<http://www.hiroringi.or.jp/ml/>



第42回呉地区七夕学会



呉地区理事 有谿俊一（済生会呉病院）

去る、6月20日（土）に平成27年度第42回呉地区七夕学会を大和ミュージアム（大和ホール）にて開催いたしました。例年であれば7月の第1土曜日を開催日としていますが、この度は、私が大和ミュージアムで開催したいという思いと会場の関係で、2週間早まりました。梅雨の真っ直中で天候も心配されましたが、幸い天候にも恵まれて141名の参加がありました。この七夕学会は、若手技師に発表の機会を与え、呉から中四国さらには全国学会への登竜門として位置づけられています。プログラムは一般演題7題、検査説明・相談のできる技師育成講演、学術講演、教育講演の4本立てで開催しました。一般演題には、学生さんも1題エントリーして頂きました。会場からの質疑応答も活発で、発表された技師の皆さんには大変よい経験になったのではと思います。プログラムにある検査説明・相談のできる技師育成は5年前より取り入れ、今回でシリーズ3回目となりました。1回目は前山口県技師会会長の三輪先生による「患者さんが納得する臨床検査相談室」、2回目の昨年は、関西医科大学の小宮山先生によるR-CPC、そして今回、安佐市民病院 臨床心理士の岡野先生をお呼びしました。岡野先生には「今日から使える患者対応のコツ～基礎から難しいケースの対応まで～」と題して講演して頂きました。検査説明・相談には患者さんとのコミュニケーションが重要です。先生には4つのカウンセリングスキルとして、環境の設定、傾聴、質問、承認とワークを交えながら講演して頂きました。また、難しいケース

の対応では、技師2名が看護師役と患者役になり事例を通して患者さんの心理状態を学ぶことができました。

学術講演は、積水メディカルの松本先生による「今話題の腎マーカーL-FABP」について講演して頂きました。このL-FABPは尿細管機能障害を伴う腎疾患の早期診断に有用で、他の腎疾患マーカーに比べて立ち上がり早く鋭敏であるをご紹介いただきました。保険適用され、これからのCKDの臨床指標となる事が期待されます。

最後の教育講演は、慶應義塾大学医学部名誉教授の渡辺清明先生に「国レベルでの臨床検査の動向-どうすれば良いか臨床検査技師？-」と題して講演して頂きました。渡辺先生は、小学校4年生から高校卒業まで呉市で過ごされ、呉への想いが強く、この度の講演を快く引き受けて頂きました。さて、内容は診療報酬の改定の仕組み、臨床検査の問題点と対策、臨床検査技師の今後の有り方について、熱く語っていただきました。先生のお話からショックだったのが、一般の人にも医療従事者にも分かり難い、また、国、特に厚生労働省などでのランクが低いことでした。この現状を打開していくには、自分達の方で臨床検査技師の底上げを早急に行う必要があると思います。呉地区の14名の新入会員は、この教育講演を聴きどのように感じ取ったでしょう。



懇親会は場所を呉阪急ホテルに移動し、新人紹介やビンゴゲームで盛り上がり最後は一本締めにて会を終了しました。最後に、呉地区七夕学会を開催するにあたり、ご協力していただいた呉地区の実務委員、賛助会員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

第 42 回呉地区七夕学会に参加して

呉共済病院 鈴木 奈緒

私は一年目の新人ですが、七夕学会には昨年、学生として参加し、今年で二回目になります。昨年の七夕学会では、体験したことのない学会への参加にとっても緊張したことを今でも覚えています。私は発表後にとびかう鋭い質問にも驚きましたが、そのような鋭い質問にも全く動じない演者の方々に凄いと感じました。それと同時に、いつか私もあの場所に立ち発表したいと思っていました。

今年は呉の名所である大和ミュージアムのホールで開催され、私は学会実務委員の受付係として多くの方々を迎えました。緊張した面持ちで来場される演者の方々に、心の中で密かにエールを送っていました。受付係をやりながらでは、全ての発表を聞くことはできませんでしたが、聞くことのできた演題はとても素晴らしく興味深い内容でした。実際に演者として発表された先輩を準備段階から間近で見て、発表することはとても大変なことであると痛感しました。また、演題は学会のために探すのではなく日々の業務における疑問や珍しい症例などをまとめて発表されておられるということにも気がきました。

学生として参加した時は理解できることも少なく、聞くこと全てが新しいことばかりで、ただただ「凄い」としか感じることはできませんでしたが、今年は昨年より知識も増えたことに加えて日々の業務から理解できる点も多くなったと感じました。

これから二年目、三年目と経験を重ねていく中で疑問や謎は直ぐ間近なところに隠れていると思います。それらを見逃さず、気付くことのできる臨床検査技師になれるよう努力していきたいと思います。

私は来年も七夕学会に参加します。三回目の七夕学会は演者として参加したいと思います！



呉医療センター 村中静夏

6月20日、呉の大和ミュージアムにて行われた第42回呉地区七夕学会に参加させていただきました

プログラムは、一般演題が7題で細菌検査部門、チーム医療部門、生理検査部門、病理細胞検査部門、血液検査部門、臨床化学部門に分けられました。臨床化学部門では母校である広島国際大学の学生が演題発表を行っており、後輩の頑張る姿を見て、「自分もこれからはこのような学会に積極的に参加して、日々精進しなければいけない」と感じました。

一般演題の後には、広島市安佐市民病院の岡野浩二先生による「今日から使える患者対応のコツ～基礎から難しいケースの対応まで～」、積水メディカル株式会社の松本美枝先生による「今話題の腎マーカーL-FABPについて」、慶応義塾大学医学部名誉教授の渡辺清明先生による「国レベルでの臨床検査の動向-どうすれば良いか臨床検査技師?-」の3つの講演を聴講させていただきました。最も興味深い内容だったのは、岡野先生による講演でした。講演では実際に隣の席の人とのワークや、事例を交えながら患者さんとの接し方を学ぶことができ、大変勉強になりました。

私は今年の4月から新社会人となり、職場では生理機能検査室に配属されました。講演では、検査を始める前に挨拶から入ると患者さんの気持ちが和らぐことや、感情的になっている患者さんに対しては、話を聞き、患者さんの気持ちに寄り添うことで、患者さんが心を開いてくれることもあるなどを知ることができました。日頃、検査に抵抗がある患者さんへの接し方に悩むことも多いため、すぐにでも実践したいと感じる内容でした。

その後の懇親会で新人紹介があるということで緊張気味でしたが、会場の先輩技師さんが暖かくリードしてくださり、無事自己紹介を終えることができました。他施設の方と交流を持てる良い機会となりました。

これから臨床検査技師としてコミュニケーション能力、技術力の向上を目指し、患者さんのお役に立てるように頑張ります。

第33回 広島県医学検査学会（第1報）



【開催日】平成28年2月20日（土）～21日（日）

【開催場所】尾道国際ホテル

（広島県尾道市新浜 1-13-6）

【テーマ】「原点回帰～大切な何かを探そう～」

一般演題の募集について

一般演題を募集します。

■演題申し込み締め切り：平成27年9月30日（水）

■抄録原稿締め切り：平成27年10月30日（金）

<申し込み先・原稿送付先・問い合わせ先>

〒722-8503

広島県尾道市新高山3丁目1170-177

尾道市立市民病院 中央検査室 森 三郎

TEL (0848) 47-1155 FAX (0848) 47-1161

E-mail: mori.saburo@omhp.jp

抄録原稿依頼のお願い

1.原稿の送付方法

①抄録ファイルを電子メールで送付するとともに印刷原稿をFAXします。

②CD-Rに保存の上、紙原稿と一緒に送付します。

CD-Rには、「タイトル」「施設名」「筆頭執筆者」「使用アプリケーション名およびそのバージョン」を明記してください。

*①②いずれかの手順で送付して頂きますようお願いいたします。

2.抄録作成内容

Microsoft Word形式で作成してください。

①用紙サイズA4、余白は上下25mm、左右20mm

②タイトルはMS明朝14ポイント

③設、氏名、本文はMS明朝10.5ポイント

④1,800字程度にまとめてください。

3.抄録原稿締め切り

平成27年10月30日（金）必着

6行	タイトル
	筆頭発表者、連名発表者（所属名）
2段組	

<抄録作成のフォーム>

【お詫びとお願い】血液検査部門から研修会参加者のみなさまへ

血液研修会「フローサイトメトリーの基礎」に参加された会員の方へ

平成27年6月19日（金）に開催した研修会において受付登録・処理に不具合があり、参加者の再登録が必要となりました。

大変お手数とは存じますが、研修会に参加された会員の方は、**8月14日（金）まで**に下記へ電話にてご連絡くださいますようお願い申し上げます。今後はこのようなことがないように注意いたします。



連絡先：血液検査部門長 中島 静
広島市立安佐市民病院
臨床検査部
TEL 082-815-5211
内線 3503

新入会員オリエンテーションと交流会のご案内<東部地区以外>

東部地区以外の新入会員オリエンテーションおよび交流会を下記の日程にて開催致します。

◇詳細については該当者に案内を発送していますのでご確認ください。多数のご参加を心よりお待ちしております。

◇関係施設の管理者および施設連絡責任者の皆様には、できる限り多くの参加がありますようご配慮の程、よろしく願い申し上げます。

■日時：平成27年8月22日（土）15：00～19：30

■場所：広島市民病院10階（中央棟）講堂

～研修内容～

「新入会員オリエンテーション」15：00～17：00

① 日本臨床衛生検査技師会・広島県臨床検査技師会の紹介（水野誠士 会長）

② 広島県臨床検査技師会の活動報告・活動計画（有谿俊一 組織調査副部長）

③ 特別講演『大きく変化した求められる臨床検査技師』（済生会広島病院 高夫智子 先生）

「交流会」17：30～19：30

場所：HONEY&HaTCHI 立町店

広島県広島市中区立町4-15 英万里ビル2F

(TEL 050-5265-5998)

会費：新入会員は無料、既会員は、3,000円

★入会申請中で案内が届かなかった方の中で参加希望の方は、お手数ですが、下記問い合わせ先までご連絡ください。

■問い合わせ先

広島赤十字・原爆病院 検査部 米田登志男

TEL (082) 241-3111 (内線6408)

E-mail: kagaku@hiroshima-med.jrc.or.jp

全国「検査と健康展」開催のお知らせ

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会では、国民の健康づくりや生活習慣病の早期発見のために、定期的な健康診断の重要性を説くことにより国民の健康づくりへの意識高揚を図る。さらに、臨床検査についての正しい知識とその普及・啓発を行うとともに、学童期や青年期の若い世代に臨床検査の世界や臨床検査技師への興味をもっていただくことを目的として、11月を「臨床検査と健康・普及啓発月間」と定め、この期間内に一斉に全国47都道府県で「検査と健康展」を実施しています。

今年度は、広島県臨床検査技師会が主催となり、下記内容で開催することが決定しています。9月には会員の皆様のご協力をお願いする予定です。



1) 期 日：平成27年11月28日（土）

2) 場 所：広島YMCA国際文化センター

3) 内 容：

① 健康講演会：（市民公開講演会）

「健康診断の臨床検査値の見方」（仮題）

講師 佐守友博先生

日本臨床検査専門医会 会長

② 「健康チェック」一般市民の臨床検査の体験

③ 中学生を対象の臨床検査模擬体験・

病院検査室見学

④ パネル展示

⑤ 「健康相談」臨床検査専門医、医師の健康相談

⑥ 市民公開講演会（広島県臨床検査技師会主催）

「認知症予防」認知症を知ろう、

それが予防の第一歩（仮題）

講師 河月 稔 先生

鳥取大学医学部保健学科

生体制御学講座 助教

研修会開催のご案内

血液研修会

～講義と検鏡実習（末梢血編）～

- 日時：平成27年8月1日（土）14時～18時
- 場所：広島大学医学部 基礎講義棟
2階形態実習室
- 内容：
 - 講義1「末梢血標本の見方・考え方（仮）」
国立病院機構呉医療センター 中川智博 技師
 - 講義2「症例から学ぶCBCの見方・考え方～初級編～」
福山市民病院 松岡里佳 技師
 - 鏡検実習
 - 症例解説 県立広島病院 井上礼子 技師
マツダ病院 向井裕子 技師
広島市立安佐市民病院 中島 静 技師
- 問合せ：広島市立安佐市民病院 臨床検査部
中島 静 TEL (082) 815-5211

平成27年度 第2回一般検査研修会

- 日時：平成27年9月26日（土）10：30～13：00
(10：00受付開始)
- 場所：広島大学医学部 第4講義室
- 内容：
 - 講演1 先制医療における尿検査の意義
下澤 達雄 先生
東京大学医学部付属病院
 - 講演2 尿定性検査の基礎と注意点
茂田 学 先生

- アークレイマーケティング株式会社
マーケティング統括部 学術推進チーム
- 講演3 臨床検査値から病態を考える
脇田 満 先生
順天堂大学医学部附属順天堂医院
- 共催：アークレイマーケティング株式会社
 - 問い合わせ先：KKR 呉共済病院 検査部
佐々木 彩
TEL 0823-22-2111 (内線4303)

化学・血液合同研修会

～R-CPC～

- 日時：平成27年9月26日（土）15時から18時
 - 場所：広島市民病院 10階講堂
 - 内容：
 - 講義と症例提示
信州大学医学部病態解析診断学 本田孝行 先生
解読者 化学・血液領域委員
 - 共催：シスメックス株式会社
- 〈注意〉
駐車券は用意できません。公共交通機関でお越しください。
- 問合せ先：広島市立安佐市民病院 臨床検査部
中島 静 TEL (082) 815-5211

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の開催日程

広島県で第2回目となる検体採取等に関する厚労省指定講習会が、平成27年6月6・7日に県立広島大学 広島キャンパス 2143大講義室（定員400名）で開催され、定員をほぼ満たす390名以上の参加がありました。会員のみならず、第3回目以降の予定をご確認の上、できるだけ早めに受講してください。広臨技では、臨床検査技師として業務に携わる如何に関わりなく多くの方々の受講を勧めています。

開催予定日	会場	募集定員	受付状況	応募状況 (7月17日現在)
平成27年9月12・13日	TPK ガーデンシティ広島	240名	受付中	キャンセル待ち
平成27年11月21・22日	県立広島大学	400名	受付中	残り183
平成27年12月12・13日	県立広島大学	400名	受付中	残り337
平成28年2月27・28日	広島YMCA学園	150名	準備中	—

※受講申し込みは・・・>> <http://www.jamt.or.jp/training/>



都道府県技師会専用会員管理システムが新しくなりました！



都道府県会員管理システムの老朽化対応と会員の一元管理等の基盤改善を目的に、平成27年6月29日より新しい会員管理サイトの運用が始まりました。

➤ 会員管理サイトへのアクセスは・・・

<http://jamtjamtis.jamt.or.jp/Jamtis/Account/Login.aspx>

＜＜広島県臨床検査技師会のみなさまへ＞＞

- 1) 会員個々の登録情報は個人で管理し、変更・異動に伴うデータの更新を随時お願いします。
- 2) 病院等の医療機関に所属されている会員は、その施設への帰属情報を正確に確認・登録してください。
- 3) アクセスID、パスワードの管理は、自己でしっかり管理してください。



求人のご案内（平成27年7月14日現在）

受付NO	平成27年 受付日	施設名	雇用形態	雇用期間	募集業務内容	その他・勤務時間など
279	7月13日	吉田総合病院	臨時職員	随時	病理検査 病理業務経験者・ 細胞検査士歓迎	勤務時間 8:30～17:00
278	6月26日	三原城町病院	正社員	随時	臨床検査業務全般 採血検査及びエコーの経験	勤務時間 8:30～17:00
277	6月1日	太田川病院	正社員	随時	臨床検査業務	8:30～17:15（シフト制）
276	6月1日	松岡病院	正社員	随時	臨床検査業務	(1)8:15～17:15 (2)9:15～18:15
275	4月9日	福島生協病院	正社員	随時	検査全般・採血業務	休日、夜勤拘束あります。 勤務時間 8:30～17:00 土曜日 8:30～12:30
273	3月24日	三原市医師会病院	正社員	随時	臨床検査業務 病理検査経験者歓迎	勤務時間 8:30～17:30
272	3月5日	広島県 環境保健協会	臨時職員	平成27年 4月～	健診業務、生理、 検体検査など	(1) 半日 9:00～13:00 (2) 健診時間による
271	3月5日	広島大学病院	正社員	平成27年 4月～	超音波を含む生理検査、 特に乳腺エコーができる方	勤務時間 8:15～17:15
270	2月10日	おだ内科クリニック	パート	随時	採血、POCT、エコー（腹部） 腹部エコー指導できれば望ましい	勤務時間 9:00～12:00 14:30～17:30 (シフト可)



広報部連絡・専用 E-Mail <koho@hiroringi.or.jp >

速報原稿の送付、広報部へのご意見等をお願いします。

モバイル端末からのメール送信も可能です。

(次号速報の原稿〆切りは、8月7日です。)

